

題 言

産業合理化と工事

遅蒔き乍ら政府は産業の合理化を標榜した。之に對しては實に國を擧げて其成功を期すべきである。

工事畫報は創刊號に於て、現米國大統領フーバー卿が商務長官たりし當時、其技術の手腕と世界人類に對する熱愛とに、多大なる敬意を表したものである。以來今日に至るまで我等は我國先輩の指導と後援とを得て、工事の合理的施工法の奨励と宣傳とに全力を盡して來たが、幸にして近年に於ては世界的に誇るべき工事の合理的施工法が實施されるに至つたのである。斯の如きは實に産業合理化の第一尖端を成したもので、我合理的工事施工法の功績も亦偉大なりと云はなばならぬ。

然し乍ら久しき間の因襲に禍されてゐる我國の工事施工法を、一朝にして悉く改善するのは容易な事ではない。假令最後の勝利が合理的施工法に在ると知つても、唯眼前の小利に左右されてしまふのは遺憾である。

今や政府が産業合理化を強調せんとする時に際し、我々工事技術者は一層の努力を以て合理的施工法の實行奨励に猛進すべきである。

世界的の發明、拔群の工法

長大なる鐵筋コンクリート製井筒を地中深く沈下して重油タンクに利用したる眞島博士の考案は實に土木工事としての世界的傑作の一である。

地下水の自然力を利用して油の表面位置を殆んど一定ならしめ、而して井筒内外の壓力を大差ならしめたる等、新設計として實に拔群のものである。

此の地下タンクは都市の安全のために又經濟なる點に於て實に世界的の發明と稱すべく、而して其井筒沈下の工法の如きも眞島博士一流の精練されたる絶對的工法である。我等は最近の合理的工事の第一位のものとして改めて世界の識者に紹介したいと思ふ。

地震國の水底トンネル

合理的施工の尖端をなす

河底を横斷する隧道は今後益々多數建設の必要に迫られるべきものと思はれる。所謂其の水底トンネルは、單なる山岳トンネルと其施工法に於て大に異なり、周密なる工學的常識と經驗とを要し、科學的合理化したる施工法に依らねばならぬものである。歐米に於ては此の種の隧道が既に幾多の完成を見つゝある。

一昨年工事畫報が詳報したるポーランド・トンネルの如きもシールドを利用して施工したる自動車トンネルとして著名なものであつた。其後に於て自動車交通の發達と俱に此種水底トンネルは各地に施工せらるゝに至つた。

我國に於ても其幾分かは遠からず實現を見る事なるべく、或は鐵道省の關門海底トンネルに先鞭をつけるやも知れない。

鐵道用の水底トンネルとしては東京地下鐵道の神田川を横斷して萬世橋の下を通ずるもの既に完成し、次の難工事と目さるゝは日本橋傍を通ずる東京地下鐵道の河底トンネルである。以上は何れも小規模のものであるが、丹那トンネルの如きも或は水底トンネルと同一に目し得べく、豫期以上の湧水の爲めには寧ろ歐米の水底トンネル以上の難工事と稱すべきである。何れにしても地震國の水底トンネル工事は最も合理的施工法の尖端を行かねばならぬものである。

